

「戦争放棄」の現憲法下で 戦争法(安保法制)廃止の「国民連合政府」を 存在してはならない法律

デタラメ「採決」

あの無様な参院特別委員会での「採決」とはとても呼べない採決、見られましたか？ 鴻池委員長を与党議員が取り囲んで安保法案が表決にかけられたのかどうかさえも不明なまま、本会議が強行されました。やり方のデタラメさは、法律の中身のデタラメさを意味します。

違憲は明々白々

このような乱暴極まりない強行で「成立」した戦争法(安保法制)はどこから見ても、現憲法下では存在そのものが許されない法律であることは明白です。にもかかわらず、安倍首相は『黒』と言う漢字を『白』と読むがごとく強行・暴走しています。

地方公聴会で水上弁護士は、アメリカ軍のイージス艦の護衛のため「武器」が使用できるのは『隊員』個人だと法案に書き込み、『自衛隊』組織が「武力行使」はしていないと見せかける、そんな姑息な小細工までして「合憲」を装う安倍政権を鋭く批判しました。

甲良民報

2015年 10月18日 651号
発行責任：日本共産党甲良町議員団
連絡：甲良町在土 463(西澤)
Tel: 38-4949 Fax: 38-2242

反対運動は、若者が、ママが、戦争体験の高齢者が、学者が、学生が、ありとあらゆる階層の方が「違憲」「廃案」と堂々と主張されました。政府が、「合憲だとする学者は多数いる」と言う。すると、いままで沈黙していた学者、大学人が「反対」の声を上げる。「違憲かどうか判断するのは、最高裁だ」と言えば、元最高裁長官が「違憲」と発言・・・安倍政権はとことん追い詰められ、強行の暴挙に出たのです。

民主主義求める運動止められない

さあ、国民の民主主義を求めるこの力で、次は「違憲の戦争法は廃止」を実現しようではありませんか。日本共産党は党大会に次ぐ中央委員会を開き、志位委員長が「戦争法廃止・立憲主義をとり戻す国民連合政府」の実現を国民・団体・他政党に呼びかけました。

戦争法廃止の一点で野党は団結を

志位委員長は強調しています。安倍首相による憲法無視の独裁政治が始まった非常事態の下で、国政上の他の課題での異論を言っている場合ではない。野党は国民の願いに応えねばならない。安倍独裁政治を倒さねばならない。そのためには選挙協力を。消費税、原発、日米軍事同盟・・・国政上の違いを脇に置き安倍

独裁政権を打倒さなければ、国民の「平和にくらす権利」は守られません。

日本共産党を強く大きく

私たちは、党をもっと大きく強くして、戦争法廃止を実現できる世論と運動を支えていく決

意です。日本の民主主義を取り戻す覚悟を決めたたたかいの始まりです。

2015年10月13日
日本共産党甲良町議員団
西澤伸明・丸山光雄
町政対策委員長
松元たけし



「安倍政権NO! 大行進」に集まった2万人 = 日比谷野外音楽堂・10月2日

プレミアム商品券問題の「第4回特別委員会」は
10月28日(水)夜7時開会 町役場2階会議室にて
15日開かれた特別委員会では「お一人様2冊まで」を「お一人様1回2冊」にすり替えられたことが大問題になりました。また、改めて情報提供を町民に呼びかけることなども確認されました。

みなさんのお声・願いをお待ちしています。

日本共産党甲良町支部の見解を紹介します。メール

くらし・医療・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38 4949 丸山光雄 38 3123

shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもご覧ください【「西澤伸明」で検索】